

# 第136期中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

株主の皆様へ

TAKEBISHI REPORT

136



 株式会社 **たけびし**

証券コード:7510

成相寺



## 京都の地に宿る「進取の精神」により 多様なパートナーと共に “京都発 最強の トータルソリューション商社”へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は1926年の創業以来、京都・滋賀地区を主力地盤に、三菱電機製品を中心とした産業用電機・電子機器を取扱う技術商社として、多くのお客様に支えられながら今日の経営基盤を築いてまいりました。

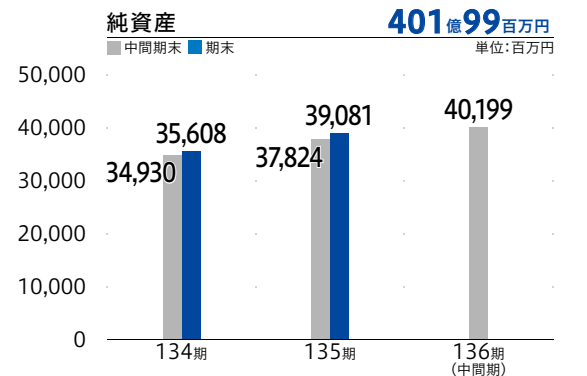
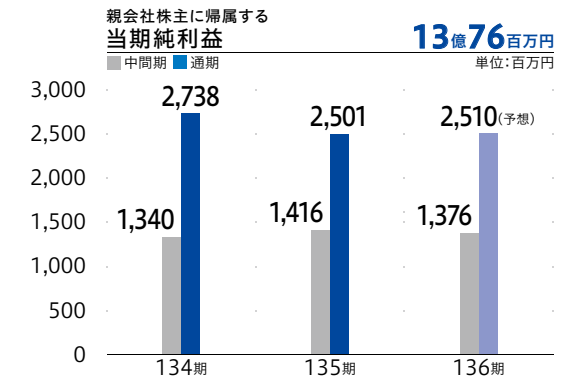
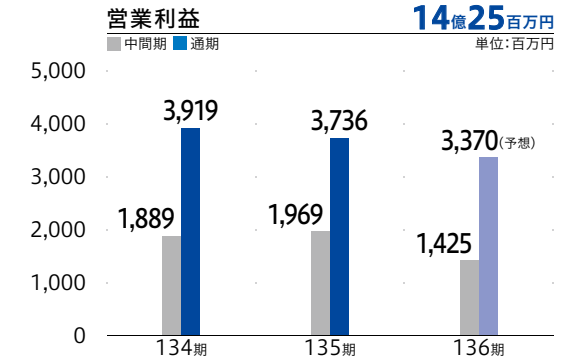
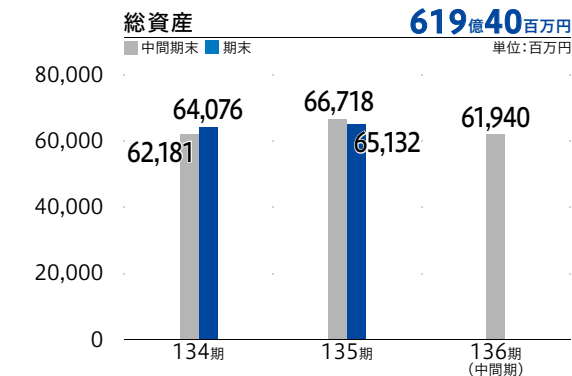
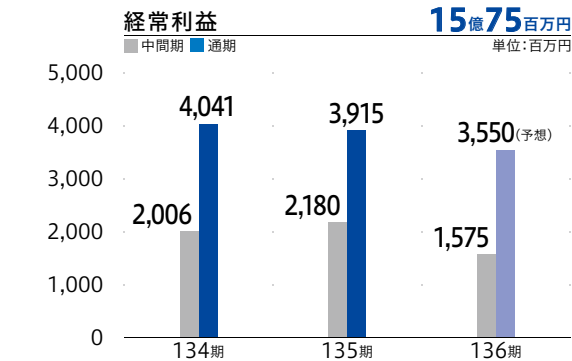
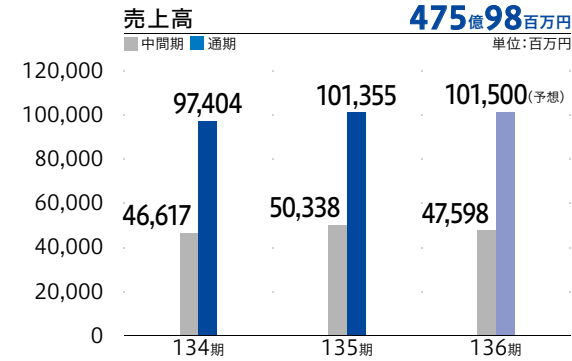
現在、当社は営業拠点を7支店・1営業所、関係会社11社(国内6社・海外5社)へと拡大し、主力の三菱電機製品と多くのパートナー製品に加え、当社オリジナル製品やシステム開発を組み合わせた当社独自のソリューションを提供し、お客様の多様なニーズにお応えしております。

これからも、産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という、幅広い事業分野でお客様の課題解決に取り組む、“京都発 最強のトータルソリューション商社”として、社会的変革に柔軟に適應しながら、時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

今後とも“たけびし”をご愛顧賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 **岡垣浩志**

### 決算ハイライト(連結)



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科目	当 中 間 連結会計期間末 (2024年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 末 (2024年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	48,897	51,029
固定資産	13,042	14,102
資産合計	61,940	65,132
<b>負債の部</b>		
流動負債	20,307	24,319
固定負債	1,433	1,730
負債合計	21,740	26,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本	35,581	34,687
その他の包括利益累計額	4,595	4,376
非支配株主持分	21	17
純資産合計	40,199	39,081
負債純資産合計	61,940	65,132

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科目	当 中 間 連結会計期間 [2024年4月 1日から 2024年9月30日まで]	前 中 間 連 結 会 計 期 間 [2023年4月 1日から 2023年9月30日まで]
売上高	47,598	50,338
売上原価	40,793	43,248
売上総利益	6,805	7,090
販売費及び一般管理費	5,379	5,120
営業利益	1,425	1,969
営業外収益	208	275
営業外費用	59	64
経常利益	1,575	2,180
特別利益	592	8
特別損失	0	36
税金等調整前中間純利益	2,167	2,152
法人税、住民税及び事業税	759	723
法人税等調整額	27	9
中間純利益	1,380	1,420
非支配株主に帰属する中間純利益	3	3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,376	1,416

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科目	当 中 間 連結会計期間 [2024年4月 1日から 2024年9月30日まで]	前 中 間 連 結 会 計 期 間 [2023年4月 1日から 2023年9月30日まで]
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 251	3,198
投資活動による キャッシュ・フロー	102	△ 16
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 603	△ 1,613
現金及び現金同等物に 係る換算差額	264	140
現金及び現金同等物の 増減額	△ 488	1,708
現金及び現金同等物の 期首残高	8,055	6,342
現金及び現金同等物の 中間期末残高	7,567	8,051

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

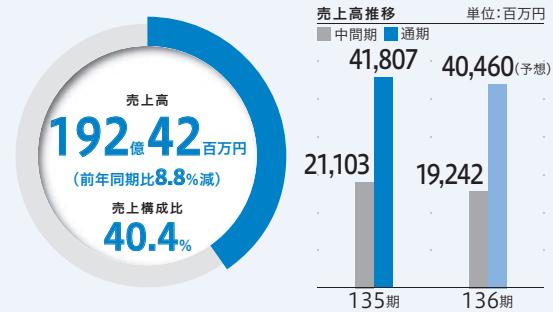
財務ポイント

- POINT 1 資産合計(流動・固定資産)**  
当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31億91百万円減少し、619億40百万円となりました。これは主に、投資有価証券の減少13億46百万円と、売上債権の減少9億92百万円があったことによるものであります。
- POINT 2 負債合計(流動・固定負債)**  
当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より43億9百万円減少し、217億40百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少34億1百万円があったことによるものであります。
- POINT 3 純資産合計**  
当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より11億17百万円増加し、401億99百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少8億85百万円があったものの、為替換算調整勘定の増加11億20百万円と利益剰余金の増加8億49百万円によるものであります。
- POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動の結果使用した資金は2億51百万円(前年同期は31億98百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の要因により一部相殺されたものの、仕入債務の減少が36億97百万円あったことによるものであります。
- POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動の結果獲得した資金は1億2百万円(前年同期は16百万円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出の要因により一部相殺されたものの、投資有価証券の売却による収入が6億87百万円あったことによるものであります。
- POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動の結果使用した資金は6億3百万円(前年同期は同16億13百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が5億27百万円あったことによるものであります。

[FA・デバイス事業]

産業機器システム

Industrial equipment and Systems

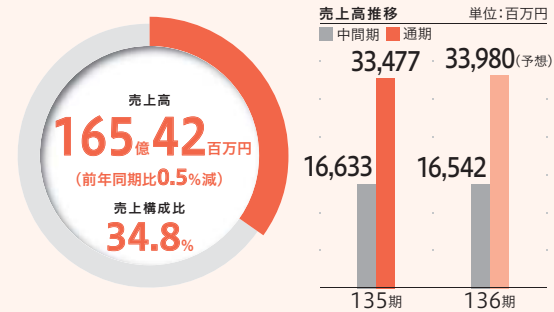


装置システムが製造業の設備投資及び自動化の需要を捉え、半導体やバッテリー関連向けを中心に増加したものの、在庫調整長期化を背景としたFA機器の減少に加え、前年にあった産業用加工機の大口案件剥落による反動減等から、この部門全体の売上高は前年同期比8.8%の減となりました。



半導体・デバイス

Semiconductors and Devices



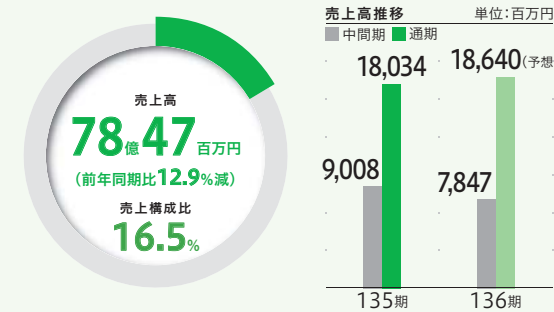
デバイスが電子部品実装機向けやインドの車載関連向け等で増加したものの、半導体・電子部品等の供給不足緩和により市場流通品の需要が減少したことから、この部門全体の売上高は前年同期比0.5%の減となりました。



[社会・情報通信事業]

社会インフラ

Social Infrastructure

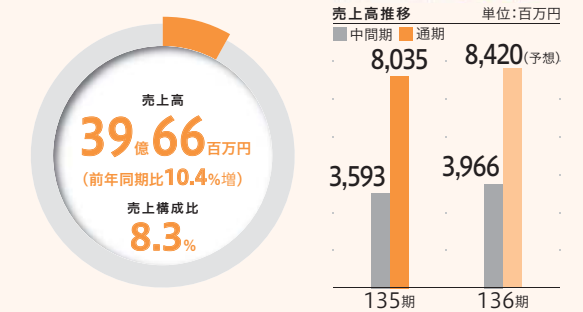


医療分野で新たに外科領域をターゲットとした診断装置ビジネス等が増加したものの、主力の放射線がん治療装置の案件が前年に集中した反動等により、この部門全体の売上高は前年同期比12.9%の減となりました。



情報通信

Information and Communications equipment



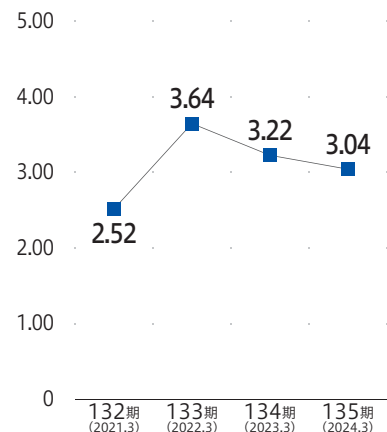
主力の携帯電話で高価格端末の販売が増加したことに加え、自社開発の店舗向け顧客囲込みアプリや中小企業のバックオフィス向けDX商材が堅調に推移したこと等から、この部門全体の売上高は前年同期比10.4%の増となりました。



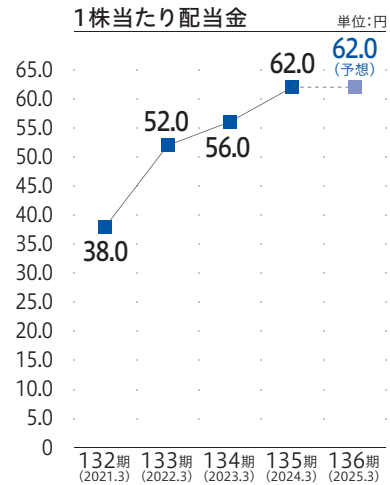
株価・配当利回りの推移



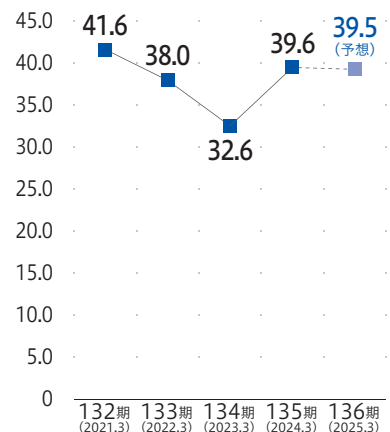
配当利回り 単位:%



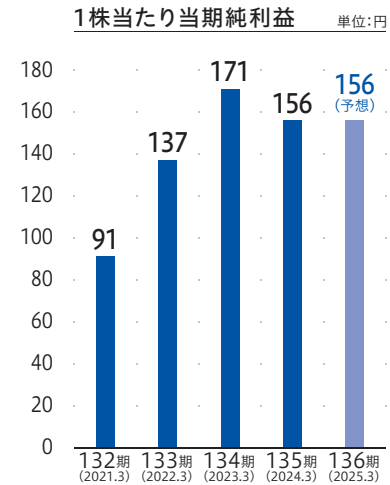
1株当たり配当金・配当性向の推移



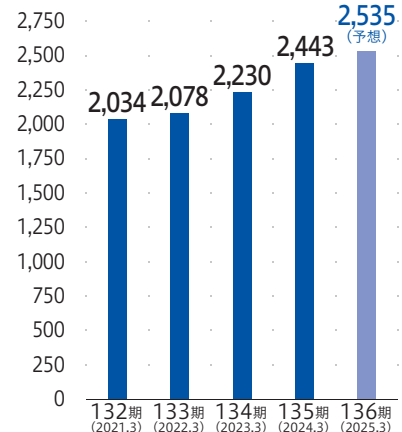
配当性向 単位:%



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産の推移



1株当たり純資産 単位:円



(注)円未満を切り捨てて表示しております。

Topics.1 ホームページをリニューアルいたしました

今回のリニューアルでは、皆さまにとってより見やすく、より快適にご利用いただけるサイトを目指し、構成やデザインを一新いたしました。また展示会情報や各種資料等のダウンロードも拡充いたしました。これからも皆さまに有益な情報をお届けできるよう努めてまいります。



Topics.2 中期経営計画の多様な人材の「採用」「育成」「働きがい」を促進

当社は「採用」「育成」「働きがい」の3つの観点から、最適で効果的な施策を実施し、中期経営計画の達成を目指します。

採用競争力・定着率の強化

- 徹底した選考と対話を通じた人材の確保を実施
- リファラル採用(社員紹介採用)の導入による、入社後の定着化推進

多様な教育制度の整備

- 各階層別教育制度の充実化
- グローバル化へ対応した海外研修制度の導入
- 社員参加型の「業務改善コンテスト」実施

ダイバーシティの推進

- 地域限定総合職制度の新設 (2024年4月)
- 社外取締役役に女性候補者を初選任 (2024年6月)



健康経営の推進

- スポーツイベントの積極推進
- 健康に係る福利厚生の充実
- 働き方改革(長時間労働対策)
- ストレスチェック活用と相談窓口設置

コミュニケーション活性の推進

- 全従業員及び家族が一堂に会するパーティーやクラブ活動等、従業員の懇親を促す仕組み
- 業務外・非定型の交流を通じたワークエンゲージメントの向上を推進

会社情報

商号 株式会社 たけびし  
 英文商号 TAKEBISHI CORPORATION  
 設立 1926年4月24日(大正15年)  
 資本金 34億28百万円  
 上場市場 東京証券取引所 プライム市場  
 人員 従業員(連結)829人(単独)428人  
 総人員(連結)907人(単独)459人  
※総人員には臨時雇用を含む。  
 本社 京都市右京区西京極豆田町29番地  
 支店 東京(東京都千代田区) 名古屋(名古屋市中村区)  
 滋賀(滋賀県彦根市) 栗東(滋賀県栗東市)  
 畿北(京都府福知山市) 大阪(大阪市北区)  
 九州(福岡市博多区)  
 営業所 甲府(山梨県甲府市)  
 関係会社 (株)フジテレコムズ、(株)ファーストブレイン、  
 アーバンエココンサルティング(株)、(株)TSエンジニアリング、  
 梅沢無線電機(株)、竹菱興産(株)  
 海外拠点 竹菱香港有限公司、竹菱香港有限公司 深圳連絡事務所  
 竹菱(上海)電子貿易有限公司  
 TAKEBISHI (THAILAND) CO., LTD.  
 Le Champ (South East Asia) Pte Ltd  
 TAKEBISHI VIETNAM CO., LTD.  
 ホームページ <https://www.takebishi.co.jp/>

役員及び執行役員

取締役会長 小倉 勇  
 代表取締役社長 岡垣 浩志  
 取締役上席常務執行役員 坂口 和彦  
 取締役常務執行役員 大井 武  
 社外取締役 池田 聡美  
 社外取締役 上村 博  
 社外取締役 西門 博道  
 取締役(常勤監査等委員) 大西 康治  
 社外取締役(監査等委員) 河本 茂行  
 社外取締役(監査等委員) 山田 善紀  
 上席執行役員 吉村 史典  
 上席執行役員 岩手 義典  
 上席執行役員 滝本 晃久  
 執行役員 田村 裕明  
 執行役員 甲村 一太  
 執行役員 竹本 憲弘

株式情報

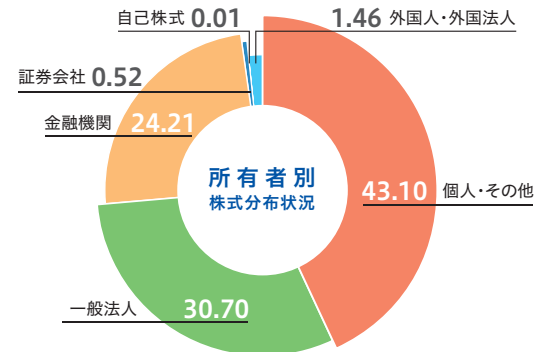
- 発行可能株式総数：28,280,000株
- 発行済株式の総数：16,006,200株
- 株主数：24,048名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	2,340	14.62
株式会社立花エレテック	1,059	6.62
株式会社サンセイテクノス	1,053	6.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	782	4.88
たけびし従業員持株会	720	4.50
株式会社三菱UFJ銀行	562	3.51
矢野チズ子	438	2.74
株式会社京都銀行	428	2.67
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.03
株式会社滋賀銀行	237	1.48

(注)1.持株比率は自己株式(1,010株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2.株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株(持株比率3.74%)を含んでおります。

株式分布状況



株主様向け INFORMATION

IRサイトのご紹介 <https://www.takebishi.co.jp/>

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、過去からの業績推移グラフ等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるように取り組んでおりますので、ぜひご覧ください。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月下旬  
 基 準 日 定時株主総会 3月31日  
 剰余金の配当 期末3月31日  
 中間9月30日  
 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します)

株主名簿管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同 連 絡 先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 電話(通話料無料)0120-094-777  
 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

公告方法 電子公告の方法により行います。  
 (ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)  
 公告掲載URL (<https://www.takebishi.co.jp/>)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

<https://www.takebishi.co.jp/>

本社 / 〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL(075)325-2111 FAX(075)325-2250



本文には見やすい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。



環境に配慮した  
植物油インキを  
使用しております。